

感謝の気持ちを大切にする学年

～ いいところ伸ばして いいところいかして ～

最後の○○

最近、「最後の○○」が続いています。

例えば、月曜日は「最後の**学年朝学活**」でした。

司会は、2組の総務、坂下さん。総務からの話は、同じく2組の佐古君でした。1年生のときから2週間に1回を目途に続けてきましたが、これで最後。時にはクイズがあったり、ゲームがあったり、先生方のスピーチがあったり…。短い時間にいろいろと行ってきましたが、3年生になってからは、定番の繰り返し。結局最後も、いつも通りに行いました。



学年朝学活

そして、火曜日には「最後の**数学学習会**」。退職校長の吉村先生と柏村先生をお招きして、11月中旬から毎週火曜日に続けてきましたが、これも最後となりました。11月の頃よりは、できることが増えた人が多くなった気がします。

また、今週からは、**給食当番**も、最後になります。ずいぶん丈の短くなった給食着を着ている人もいます。中学校を卒業したら、さすがにもう、これを着て配膳することはないと思います。いろいろなことが、「最後の○○」となります。



給食当番

だから？

だから、「感傷に浸ろう」ということではなく、「何事もいつか終わりが来る」ということ、だから「日頃が大事」ということです。とはいえ、普段はそんなこと忘れてしまいます。

卒業式まで登校する日は、あと9日。1ケタになりました。

これまで過ごしてきた日々を振り返り、残り少ない中学校生活を丁寧に過ごしてもらいたいと思っています。



数学学習会



廊下の掲示を見る人